

学術会議「廃止」「解体」!?

**「法人化法」
は要らない!!
各界リレートーク**



「学問の自由」「真理探究」の営みとして、「科学に関する重要事項を審議し、その実現を図る」科学者のコミュニティ機関としてその役割を担ってきた日本学術会議が「解体」されようとしています。

道憲法共同センターは9日、さっぽろパルコ前で各界共同「9の日」アクションを実施。

前日衆院を通過したサイバー法案（「能動的サイバー法」）や、戦後76年間にわたり、「日本の平和的復興に寄与」することを使命として、政府から独立して役割を果たしてきた学術会議「解体」法案など、後半国会の焦点の課題について、自由法曹団、北海道原水協、道労連、日本共産党の各代表が訴えました。

この日の行動には、護憲ネット北海道から代表の吉井健一さん（同、中央）が連帯参加。「戦争国家づくり・格差社会を終らせるため、共同を」と熱いアピールで、エールが交わされました。

過去最大8兆7000億円の大軍拡、「敵基地攻撃」用スタンド・オフ・ミサイル保管用の「弾薬庫」整備費などを含む2025年度政府予算が31日、衆参両院を通過、成立。後半国会も熱いたたかいが！

虐殺をやめる気のないイスラエルからガザを守るため声をあげよう！

2025年4月6日・20日（日曜日）

13時～14時 札幌駅南口広場

「ガザのパレスチナの命を救え」集会



**私たちがぜったいにあきらめない！
ガザ、パレスチナが解放されるまで**

主催：北海道パレスチナ医療奉仕団

「パレスチナの命！」 20 集会・デモへ

13日「市内で機能している最後の病院にもイスラエル軍の空爆」（ガザ市、BBC 特派員）の報道があったガザ。

水、食糧、救援物資の供給も断たれ、「避難所」にもなっている学校・病院が空爆され、住民に「強制移動」が求められています。3月18日のイスラエルのガザ停戦破棄後、ひと月足らずの間の空爆等で住民の死者は1563人。23年10月以来の死者は5万933人と（保健当局）とされるガザ。

今週末20日（日曜）の札幌駅前アクションご参加を呼びかけます。

●もう誰も殺さないで！ パレスチナの命を救え！ 4/20 札幌駅前へ！ 午後1時から